

「秋山木工3部」感想文

浅井 優子

この本を読んで、こんなに厳しい学校というか、職場があるのかと驚きでした。一番はやはり丸坊主にする事です。男性でも抵抗があるのに、女性でも入社を希望する子がいる事にビックリしました。またそれだけではなく、親とも友達とも年に二回しか会えなかつたりと、厳しいルールが沢山あり、こんな所に自分から入社を希望する人がいるのかと思う程です。

何事も、一流になるには人並み以上の努力が必要で、更に沢山の経験をjする事が大切なのだとこの本を読んで再認識いたしました。秋山さんがセッかく育てた職人達を、四年という自分にとってプラスになる時期に退職させるというシステムは、その人の成長を考えたの事です。先生も化粧品の製分の研究などもしていたと先日伺ったので、その様にあらゆる経験を積み重ねているのだらうなと思います。

す。私はリセラで五年働き、まだまだマネージメントや人間的に勉強しなければいけないところには多々ありました。が、エステティシヤンの技術面や改善の知識面では、あのまま大阪店にいても成長する事は出来なかつた。と今感じています。もつと勉強したい。日本一の先生の元で学びたいと思ひ、決意しました。今、毎日が勉強でとても新鮮です。そして、一流になるには技術や知識よりも、人間性が大切という社長や先生のおっしゃっている事は、どの世界でも一緒なのだという事が課題図書で見えてきました。

先生が「教える事は山の様にあつて、一年半じゃ教えきれない」とおっしゃっていた様に、まだまだまだ先生のおっしゃっている事が理解できなかつたりします。ですが、先生はいつも「あなたはその為に来たんでしょ？」とお店のスタッフとしてではなく、私の今後の事を考えて伝えて下さっているのが、本当にありがたいといつも思っています。すつと銀

座店でお世話になる訳ではないのに、大切な  
時間を使って教えて下さっているという事を  
もう一度心に持ち、人間性を高めていきます  
先生の人生を賭けて培ったリセラでの肌改善  
技術を、全てではなくても大阪でも実施し、  
日善<sup>☐</sup>を広めていけるように、まずはカウン  
セリングを勉強して参ります。

今回もこの様な学びの機会を与えて頂き、  
ありがとうございます。ございました。